2つの黒鉛ルツボ*1を使用して 連続溶解を可能にした手元炉※2。

※1 黒鉛ルツボ:黒鉛の正式名 は石墨 (グラファイト)。炭素の 結晶化が進んだもので、耐熱性に 優れている。

※2 手元炉:アルミニウム鋳造 (ダイカストを含む) などで、鋳型 やダイカストマシン近くに設置・ 使用される保持炉。現在は溶解機 能を合わせ持つ溶解兼保持炉も 手元炉とされている。





予熱タワー

溶解用ルツボ

出湯桶

経済産業大臣賞 豊田賞 小野田賞

技術開発賞 中小企業庁長官賞

保持用ルツボ

「ルツボ式連続溶解兼保持炉(メルキーパー)」は、二つの黒鉛ルツボ を用いた独創的な構造により溶解と保持の連続化を実現させた省工 ネルギー性・高歩留まり性に優れた製品です。メルキーパーにゼブラッ クスルツボを採用することで、ダイカスト市場やグラビティ鋳造の 溶解兼保持炉として、溶解時間の短縮による燃料費削減と生産性向 上により省エネ機能を一層向上させることができました。



会社概要 (2021年9月30日現在)

日本ルツボ株式会社(登記上社名:日本坩堝株式会社)

Name: Nippon Crucible Co., Ltd.

設 立 明治39年(1906年)12月

本店所在地 東京都渋谷区恵比寿1-21-3 恵比寿NRビル

TEL(代表): 03-3443-5551 FAX: 03-3443-5191

資本金 7億452万円

証券取引所 東京証券取引所 市場第二部 会計監査人 有限責任監査法人トーマツ

証券コード 5355

従業員数 連結 245名 単体 173名

株主メモ

事業年度	毎年4月1日~翌年3月31日
剰余金の配当基準日	3月31日(中間配当を行う場合は9月30日)
定時株主総会	毎年6月下旬
単元株式数	100株
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目3番3号 みずほ信託銀行株式会社
郵便物送付先	〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4 みずほ信託銀行 証券代行部
電話お問い合わせ先	フリーダイヤル 0120-288-324 (土・日・祝日を除く9:00~17:00)
株式に関する お手続きについて (住所変更・買取請求等)	 証券会社等の口座をご利用の場合 お取引の証券会社等にお問い合わせください。 証券会社等の口座をご利用でない場合 (特別口座) みずほ信託銀行(TEL:0120-288-324)までお問い合わせください。
公告方法	電子公告 (https://www.rutsubo.com/) (ただし、やむを得ない事由によって、電子公告による公告をすることができない場合には、日本経済新聞に掲載して行います。)

経営理念

わが社は、創造性豊かな活力に満ちた役職員により、伝統を守り つつ、いかなる時代、いかなる環境にも適合する会社を目指します。

Heart&Spirit

当社は、明治18年の創 業以来、お客様ニーズを 的確に把握し新製品の開 発、新ジャンルの開拓を 推し進めてまいりました。 変わりません。

Ecology

当社は、どんなに優れた 技術であっても地球環境 にダメージをあたえては ならないと考えます。環 境に対して求められるも 21世紀も、その姿勢は の、必要なものを展望し ながら製品・設備を提供 してまいります。

Challenge

「現状維持は退化につな がる」という発想のもと、 常に新しい技術を開発し 続け、新しい分野への進 出によりお客様の満足を 実現してまいります。



日本ルツボ株式会社 NIPPON CRUCIBLE CO.,LTD.

URL:https://www.rutsubo.com/







当社は、グループー丸となって、耐火物事業 を核として競争力・収益力・成長力のある企業 体質の確立を目指してまいります。



当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響拡大により厳しい状況が続きましたが、海外経済の回復に伴う輸出の増加を背景に景況感は改善しました。先行きについては、世界的な景気回復を背景として業績の改善に向かうとみられますが、サプライチェーンを通じた景気の下振れリスクへの懸念もあって、不透明な状況が続く見込みであります。

当社グループを取り巻く関連業界におきましては、主要取引先である自動車関連産業は、前年度低水準の反動から普通車の販売及び生産は前年比増加となりましたが、半導体の供給不足の影響等による減産の動きもあって回復ペースは緩やかとなる見通しであります。

鉄鋼産業は、国内粗鋼生産は前年同月比で増加しているものの、 中国の粗鋼生産が依然として高水準を維持していることから、引き 続き厳しい経営環境にあります。

このような状況のなか、当社グループは営業と技術が一体となり、主力製品や新製品の拡販活動を積極的に推進してまいりました。この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は44億7百万円と前年同四半期比19.3%増加いたしました。利益面では、営業利益は1億5千8百万円(前年同期は営業損失6百万円)、経常利益は1億8千3百万円(前年同四半期比860.0%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は1億2千4百万円(前年同四半期比176.2%増)となりました。

当社は、グループー丸となって、耐火物事業を核として競争力・収益力・成長力のある企業体質の確立を目指してまいります。今後とも、株主の皆様より変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役計長

大久保正志

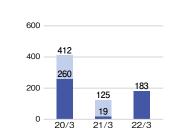
売上高

4,407百万円



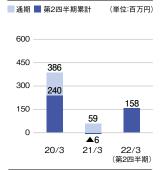


経常利益

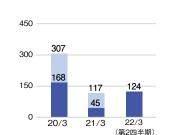


営業利益又は営業損失

158百万円



親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益



四半期連結貸借対照表(要旨)

連結財務諸表

(単位:千円)

	当第2四半期連結会計期間 (2021.9.30)	前連結会計年度 (2021.3.31)
資産の部		
流動資産	7,085,706	6,390,604
固定資産	4,424,968	4,313,488
(有形固定資産)	(2,372,769)	(2,467,588)
(無形固定資産)	(345,125)	(314,780)
(投資その他の資産)	(1,707,073)	(1,531,120)
資産合計	11,510,674	10,704,092
負債の部		
流動負債	3,781,404	3,449,957
固定負債	2,625,482	2,341,738
負債合計	6,406,886	5,791,695
純資産の部		
株主資本	4,729,477	4,645,554
その他の包括利益累計額	374,310	266,843
純資産合計	5,103,788	4,912,397
負債純資産合計	11,510,674	10,704,092

四半期連結損益計算書(要旨)

(単位:千円)

	当第2四半期連結累計期間 (2021.4.1-2021.9.30)	前第2四半期連結累計期間 (2020.4.1-2020.9.30)
売上高	4,407,185	3,692,890
売上総利益	1,294,805	869,221
営業利益又は営業損失(△)	158,479	△ 6,199
経常利益	183,615	19,127
税金等調整前四半期純利益	201,075	82,331
四半期純利益	124,900	45,218
親会社株主に帰属する四半期純利益	124,900	45,218

セグメント別概況(連結)

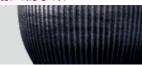
売上高 **4,407** 百万円

売上高構成比率 **4.6**% 7.4% **30.1**% 57.9%

■ エンジニアリング事業

■ 不動産事業 ■ その他事業

耐火物事業



売上高 **2,552**百万円

鋳造市場向けは、主として不定形耐火物及び鋳物材料の販売増加により売上が増加いたしました。鉄鋼市場向けは、当社がメンテナンスを担当している高炉の再稼働により売上が増加となりました。その結果、耐火物事業全体の売上高は前年同四半期比15.8%増加いたしました。

エンジニアリング事業



売上高 **1,326**百万円

溶解炉市場向けについては、炉修 工事が増加いたしました。また、環境 関連市場向けについては、民間焼却 設備を中心に安定的に受注を確保し たことにより、売上が増加となりま した。その結果、エンジニアリング 事業全体の売上高は前年同四半期比 3.8%増加いたしました。

不動産事業・その他事業



売上高 **527** 百万円

本社ビルの賃貸事業は、立地条件の良さから100%の入居率を維持しております。一方で、太陽光発電事業については、天候の影響からやや減少となりました。また、その他事業として、4月5日に日本ビーシーエス株式会社を子会社化したことにより、新たに塗料循環装置事業が加わっております。

(注) 1. 売上高構成比率は外部顧客に対する売上高から算出しております。

2. 上記の売上高の数値につきましては、セグメント間の内部売上高または振替高を含む売上高で表示しております。